

◆第 57 回全国保育士会研究大会 特別分科会の発表テーマ決定!!◆

全国保育士会研究大会では、大会 2 日目の「実践研究分科会」において、自由発表による『特別分科会』を設けています。

『特別分科会』は、自らの実践の発表に対し、参加している全国の仲間から意見いただき、意見交換を行うことで、保育の質の向上を図る場として位置づけています。

11 月 21 日（木）、22 日（金）の 2 日間、高知県高知市で開催する第 57 回全国保育士会研究大会の『特別分科会』発表者を全国の会員から募集した結果、5 件の応募が寄せられました。

本会大会運営委員会による審査の結果、下記のとおり発表者が決定しましたので、お知らせいたします。

（北から順・発表順とは異なります）

都道府県・指定都市	発表者氏名 (敬称略)	法人・施設名	発表テーマ
横浜市	谷畑 伴子	シャローム保育園	対面コミュニケーションの大切さに気づかされて ～保育参加、預かり事業から得られる安心感を考える～
三重県	杉本 桂子	トーマスぼーや保育園	知育玩具がもたらす子どもの成長 ～保育の中に知育玩具を取り入れて～
長崎県	山崎 舞	池田認定こども園	2・3 歳児の『散歩』のあり方について～よりみち散歩でいいものみつけた！～
熊本市	鬼木 紀代美	旭保育園	保育の再構築、私から始める！ ～コロナ禍が終わって～
北九州市	酒井 初恵 郷之丸 智恵美	北九州市保育士会研究部	子どもの言葉を豊かにする研究 ～3 歳児の調査研究からみえてきたもの～